

第 18 回 荒川クリエイション 少年少女サッカー大会

- ★ 大会日程 平成24年11月24日(土)・12月1(土)／12月8日(予備日)
- ★ 試合会場 板橋区荒川戸田橋緑地サッカー場(6面使用)
- ★ 開会式 平成24年11月24日(土) 午前8時30分～
板橋区荒川戸田橋緑地サッカー場

開会式次第

1. 選手整列
2. 開会宣言
3. 優勝旗・優勝杯 返還
4. 準優勝杯 返還
5. 大会会長挨拶
6. 来賓挨拶・紹介
7. 大会審判長注意
8. 選手宣誓

閉会式次第

1. 選手整列
2. 成績発表
3. 表彰式
4. 大会講評
5. 閉会宣言
6. 選手退場



主催 荒川クリエイション少年少女サッカー大会実行委員会

後援 国土交通省荒川下流河川事務所
葛飾区教育委員会、墨田区教育委員会、台東区教育委員会、北区教育委員会、
荒川区教育委員会、足立区教育委員会、江東区教育委員会、川口市教育委員会
戸田市、江戸川区、板橋区

本大会の主旨

<目的>

荒川の河川敷を利用している2市9区の少年少女サッカー団体相互の交流・親睦を図り、また荒川を利用することによって荒川を理解し、荒川に親しむことを目的とする。なお、本大会は荒川クリエーション・河川敷利用スポーツ提携の一環として実施するものである。

荒川を“知る”、荒川に“触れ合う”、荒川の未来を“創る”

荒川クリエーション

皆さんは、現在の東京を流れる荒川が人の手で作った放水路だということをご存知でしたか？

荒川放水路開削工事は、明治40年と明治43年に相次いで東京の下町を襲った大洪水を契機に、こうした洪水から東京の下町を守るため、明治44年から国家的大事業として行われました。

この時の荒川放水路の川幅は、上流部455m、河口部582mで、延長は岩淵町（現在の北区志茂）から砂町に至る22kmにも及び、1,300戸の家屋移転を伴う大事業でした。

この間、第一次世界大戦や関東大震災を経て、当初計画の2倍の年月を費やし、大正13年10月12日に無事通水、その後、水門や門などの工事を実施し、昭和5年に完成しました。

その荒川も通水されてから80年が経ちました。

荒川下流部は人工の川ですが、ちょっと回りを見渡してみてください。公園やグラウンドだけでなく、多くの自然が見えませんか？

雄大な自然の中に身を置くことのできる憩いの空間だということが実感できたでしょうか？あるいは、“もっとこんな風な荒川だったらなあ〜”と思われたでしょうか？荒川には多くの歴史や自然、文化などがありますが、将来はどうあってほしいと思いますか？国土交通省荒川下流河川事務所では、皆様に荒川の様々なことを知ってもらい、荒川のことを考えていただくため、<荒川クリエーション>事業として色々な活動を行っています。

この大会を機会に様々な荒川の姿を発見してみませんか？

第18回 荒川クリエーション少年少女サッカー大会 役員

大会会長	長谷川	忠弘	(板橋区サッカー連盟 会長)
大会副会長	山田	和範	(北区サッカー協会 会長)
大会実行委員長	福手	敏雄	(板橋区サッカー連盟 理事長)
大会実行副委員長	平林	邦雄	(北区サッカー協会 副会長)

【大会実行委員】

足立区	小林	茂	(足立区サッカー協会 理事長)
	柳田	勝吉	(足立区サッカー協会 事務局長)
	小野	浩一	(足立区サッカー協会 少年部部長)
	秋本	雅信	(足立区サッカー協会 女子部部長)
荒川区	中村	隆哲	(荒川区サッカー協会 会長)
	岩本	伸一	(荒川区サッカー協会 ジュニア部部長)
	浦山	洋子	(荒川区サッカー協会 会計)
	中島	武司	(荒川区サッカー協会 育成部部長)
板橋区	高田	清	(板橋区サッカー連盟 少年部)
	新谷	健一	(板橋区サッカー連盟 少年部)
	小林	貞元	(板橋区サッカー連盟 少年部)
江戸川区	平山	清美	(江戸川区サッカー連盟 少年部部長)
	高橋	満美	(江戸川区サッカー連盟 少年部副部長)
	大野	誠	(江戸川区サッカー連盟 少年部総務)
	初	英紀	(江戸川区サッカー連盟 女子部部長)
葛飾区	松村	龍雄	(葛飾区サッカー連盟 理事長)
	大山	秀王	(葛飾区サッカー連盟 副理事長)
	鈴木	隆志	(葛飾区サッカー連盟 少年部部長)
	澤村	亘之	(葛飾区サッカー連盟 少年部副部長)
川口市	齊藤	富太郎	(葛飾区サッカー連盟 少年部副部長)
	武内	秀美	(川口市少年サッカー連盟 副会長)
	神中	良行	(川口市少年サッカー連盟 事務局長)
	石井	幸雄	(川口市少年サッカー連盟 事務局次長)
北区	田村	達夫	(川口市少年サッカー連盟 企画部長)
	平林	邦雄	(北区サッカー協会少年少女委員会 委員長)
	菊池	敏裕	(北区サッカー協会少年少女委員会 副委員長)
	渡邊	彩子	(北区サッカー協会少年少女委員会 事務局会計)
江東区	立田	博	(北区サッカー協会女子委員会 委員長)
	桑田	茂雄	(江東区サッカー連盟 理事長)
	金子	博	(江東区サッカー連盟 副理事長)
	青山	恩	(江東区サッカー連盟 顧問)
墨田区	及川	勝一郎	(江東区サッカー連盟 事務局長)
	近藤	哲夫	(江東区サッカー連盟 技術部部長)
	岩間	孝俊	(江東区サッカー連盟 普及部部長)
	清水	裕三	(墨田区サッカー協会 理事長)
台東区	小林	雄二	(墨田区サッカー協会 少年部部長)
	佐藤	益朗	(台東区サッカー連盟 理事長)
	田中	元章	(台東区サッカー連盟 少年部部長)
	中村	昌臣	(台東区サッカー連盟 技術部部長)
戸田市	柿沼	昭宏	(台東区サッカー連盟 技術部副部長 選抜担当)
	白倉	正英	(台東区サッカー連盟 技術部副部長 少女担当)
	伊野	広明	(戸田市少年サッカー連盟 会長)
	石田	進逸	(戸田市少年サッカー連盟 副会長)
大会事務局	大坪	嘉明	(戸田市少年サッカー連盟 事務局長)
	卯月	泰之	(戸田市少年サッカー連盟 育成部長)
大会事務局	高田	清	(板橋区サッカー連盟 少年部)
大会事務局	渡邊	彩子	(北区サッカー協会少年少女委員会 事務局会計)

大会審判長 林 理 (板橋区サッカー連盟 少年部)
大会副審判長 高 橋 周孝 (北区サッカー協会少年少女委員会 審判部長)

第18回 荒川クリエーション少年少女サッカー大会 大会要項

1. 大会日程 : 平成24年11月24日(土)、12月1日(土)、予備日12月8日(土)

2. 大会会場 : 板橋区荒川戸田橋緑地サッカー場 少年4面 少女2面

3. 出場チーム数

	荒川	足立	板橋	北	墨田	葛飾	江戸川	江東	台東	川口	戸田	計
少年	2	1	2	2	辞退	1	1	2	1	2	2	16
少女	1	1	1	1	辞退	2	1	1	1	1	1	11

4. 開会式 : 平成24年11月24日(土)

板橋区荒川戸田橋緑地サッカー場 午前8時30分～(少年少女共に)

5. 集合時間・役員と参加チーム(各2名) 午前7時(両日共) ※ピッチ作りと大会本部設営
・チーム受付 午前8時～(両日共)

6. 閉会式 : 平成24年12月1日(土) 板橋区荒川戸田橋緑地サッカー場(少年少女共に)

7. 参加費 : 1チーム 7,000円 ※大会初日の大会本部チーム受付時納入のこと。

9. 参加資格 : 原則として小学生5、6年で構成された各市区の選抜・代表チーム
スポーツ保険に加入していること。

10. 競技規定

①当該年度の日本サッカー協会競技規則に準ずる。

②大会期間中、警告の累積が2回になった選手は次の1試合には出場できない。

出場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。

③エントリー表は、事前登録に関して何人でも良いが、当日ベンチ入り選手はメンバー表記入の20名以内とする。また、エントリー登録選手であれば試合ごとの入替は自由である。

試合当日のエントリー表の追加・変更は認める。その場合は大会1日目に大会本部に提出すること。

④メンバー表にベンチ入りする20名以外の選手の氏名部分に線(一)を引き先発選手11名は、先発欄に○印を記入すること

⑤メンバー表は、記入確認の上ユニフォームチェック前に2部提出する(大会本部用・審判用)。

⑥チームベンチの入場は指導者3名以内とする。

⑦ユニフォームは正副2着を用意すること。選抜のユニフォームがなければ、個別のものでも可。
試合30分前(もしくは前の試合のハーフタイム中)にユニフォームチェックを行う。

(指導者、選手、審判が集まって実施)

⑧審判は、ユニフォームチェック終了後、打ち合わせをおこなう。

⑨選手は各試合会場に10分前までには集合し、審判の用具チェックを受ける。

- ⑩審判は帯同（各チーム2名以上）、審判着着用とする。主審担当チームが第4審も担当し、副審2名の計4名で行う。また第4審は警告、退場を命じられた選手をメンバー表にチェックし、試合後大会本部へ提出する。
- ⑪スパイクは固定式のみ可とする。
- ⑫試合球は4号縫いボールを使用（持ち寄り、空気圧0.8気圧）

11. 試合方法

- ①試合時間 40分（20分—5分—20分） 少年少女共通
- ②予選
 - ・少年参加16チームを4ブロック、少女参加11チームを3ブロックに分けリーグ戦を行い、勝点方式で順位を決定する。
 - ・勝者に勝点3、引分は勝点1を与え、勝点の多い順に順位を決定する。
 - ・同勝点の場合は得失点差・総得点・対戦結果の順位で決定し、対戦相手が引分の場合はPK方式にて勝者を決定する。
- ③決勝
 - <少年> 1・2位トーナメントは予選各ブロック1位・2位の8チームでトーナメント方式で行い、同点の場合はPK方式にて勝者を決定する。但し、決勝戦のみ10分（前後半各5分）の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式で勝者を決定する。
3・4位トーナメントは予選各ブロック3位・4位の8チームでトーナメント方式で行い、同点の場合はPK方式にて勝者を決定する。
 - <少女> 予選リーグ1・2位の順位によるグループ分けて、順位リーグ戦を行い勝点方式で順位を決定する。
3・4位チームによりトーナメントを行い、順位を決定する。同点の場合PK戦とする。

12. 表彰<少年の部>

- 優勝：優勝旗、優勝杯、賞状、メダル、レプリカ
- 準優勝：準優勝杯、賞状、盾
- 第三位：賞状、盾（三位決定戦を行わないので二チーム）
- 3・4位トーナメント一位：賞状、盾

<少女の部>

- 優勝：優勝旗、優勝杯、賞状、メダル、レプリカ
- 準優勝：準優勝杯、賞状、盾、
- 第三位：賞状、盾
- 2位リーグ一位：賞状、盾
- 3・4位トーナメント一位：賞状、盾

- ## 13. 注意事項
- ①試合中及び行き帰りでの怪我・事故等は一切責任を負いかねますので、ご了承願いますと共に、十分ご注意をお願いします。
 - ②ゴミは各自持ち帰ってください。応援のかたにも告知してください。
 - ③グラウンド・ベンチは禁煙です。喫煙は所定の場所をお願いします。
 - ④雨天等による大会中止は、午前6時に大会ホームページに掲載。
 - ⑤その他、不明な点等は当日会場本部にて確認願います。
 - ⑥土手でのボール遊びは禁止、道路では高速の自転車に注意してください。